



生命の源、水。私たちは常に水の恩恵に預かっています。日本は水が豊かで美しい国です。
一方、世界では水の汚染や異常気象による水害、干ばつ、砂漠化など水の危機が心配される地域もあります。
日本の水資源と環境との関わりについて、仙台市の現状、国の施策や変遷、学術的な視点から一緒に考えてみませんか？

第46回環境フォーラム 第13回 SFTEE セミナー

水資源と環境

参加無料

主催／東北大学大学院環境科学研究科、NPO 法人環境エネルギー技術研究所

会場／仙台ガーデンパレス 3 階 コンベンションルーム（仙台市宮城野区榴岡 4-1-5）

2018.11.16 Fri 13:30 ~

13:30-13:35

ご挨拶

霜山 忠男（NPO 法人環境エネルギー技術研究所 理事長）

13:35-13:55

「下水処理場を利用した水素製造」

田路 和幸（東北大学大学院環境科学研究科 教授）

本講演では、下水処理場で発生する硫化水素を処理しながら、クリーンエネルギーの一つである水素を作る方法を紹介しします。その原理は下水処理場で発生する有毒ガスの硫化水素をアルカリ溶液に溶かし、その溶液に光触媒を入れ太陽光を照射すると、硫化水素が分解し水素を製造することができますが、実用化には克服すべき課題もありその課題も含め紹介しします。

13:55-14:35

「くらしと文明を支える水環境」

李 玉友（東北大学大学院工学研究科 教授）

健康、生活、産業と密接に関わっている水。成人の体重の約 60%は水で、健康を維持するのに 1 人 1 日 2-3 L の水が必要ですが、生活を維持するのに 1 人 1 日 300 L の水が必要です。四大文明は大河流域に生まれ、人類は水を飲料水、生活水、産業水に使用し、治水利水を通して文明を進展させてきており、都市は上下水道に支えられています。安全な水、美味しい水、バーチャル水を始め、大切な水循環・水環境を一緒に考えましょう。

14:35-15:15

「仙台市の下水道と震災復興（南蒲生浄化センターの変遷）」

西坂 光（仙台市建設局下水道事業部南蒲生浄化センター 技師）

2011 年 3 月、仙台市の下水道施設は東日本大震災により甚大な被害を受け、南蒲生浄化センターは水処理機能を完全に喪失しました。本講演では、主に当浄化センターの復旧事例及び防災・減災への取組みについて紹介しします。

15:15-15:40 コーヒーブレイク

15:40-16:20

「下水道資源エネルギー活用の現状と可能性について」

加藤 裕之（公益財団法人日本下水道新技術機構・新技術研究所長

／東北大学未来科学技術共同研究センター特任教授

／内閣府・地域活性化伝道師）

遅れていた日本の下水道の普及はめざましく伸びて、河川等の水質改善が図られました。一方、増大する下水汚泥や処理水は、通常は処分・放流されてしまっていますが、地球温暖化対策や地域振興の一環として、資源活用することが求められています。その最新動向について概要を述べるとともに、エネルギー利用や農業利用を進めるイノベーションの全国的な事例や、民間活用についてお話しします。

お申込み・お問合せ

参加ご希望の方は、お名前・ご所属・ご連絡先を 11 月 12 日までに、下記、事務局へお知らせ下さい。

info@sftee.or.jp / TEL : 022-795-7391 / FAX : 022-795-7392

★会場ではテキストを実費販売致します。（数量限定、2 千円程度）